

箱根組ニュース

第347号 2022年 3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

鎌倉一の梅園、十二所果樹園の梅はまだ少し早かった、展望台の広場で豚汁を楽しむ！

2月20日(日)、JR東京駅7時3分発の横須賀線逗子行きに乗車。新宿からの方や途中駅の方々が鎌倉駅東口に集合。

駅前が集まったのは、佐藤、及川、坂巻夫妻、井上夫妻、宗像夫人、川名夫人、神山、和田、谷田、神吉、星野親子、戸丸の15名。

金沢八景方面行ききの4番バス停から8時55分発の鎌倉霊園正門太刀洗行ききのバスに乗車。バスは鶴岡八幡宮前の大通りを北に進み突き当りにある八幡宮を見ながら右に曲がってゆく。市内から外れるとすぐに田舎の雰囲気になる。

10分ほどで十二所(じゅうにそう)バス停着。バス停横に丁度いい広場があり、ここをお借りして井上さん指導のストレッチを行う。朝まで降っていた雨はあがって少し青空ものぞき始めている。

体操が終わってすぐ横の山肌を見ると洞窟のような大きな穴が開いている。覗いてみるとかなりの大きな洞窟で真ん中には四角く水も溜まっている。防空

壕だったのだろうか。その右側にももう一つ少し小さな洞穴があった。

9時25分、歩き出す。バス停から斜め右に住宅の間を入ってゆく。目の前の酒店でビールを買う予定だったが残念ながら臨時休業だった。

すぐに小さな、時代がかった赤い橋を渡る。小さな川、滑川に架かる光触寺橋だ。目の前に山門が見える。橋の名前と同じ光触寺(こうそくじ)だ。石段を十段ほど登るとお寺の境内だ。山門の右側には鎌倉市が設置している公衆トイレがある。鎌倉市歴史的風土保存区域の標柱の奥にある。その標識の通りトイレの建物もお寺と同じような瓦屋根になっている。(鎌倉駅近くのコンビニの店の看板も落ち着いた色使いになっていた)それほど広くないが、落ち着いた静かな境内には紅梅が咲き始めている。右奥の池も風情を感じられる。

9時42分、出発。住宅の間の道もそれなりの雰囲気がある。紅梅がほぼ満開のお宅もあった。竹の枝で垣根を芸術的



に作っているお宅もあった。

9時47分、バス通りに合流する。しばらく車道の右側、川沿いの道を進む。川の向こうには大きな椿の木が花をつけている。

9時50分、十二所神社バス停通過。ここで右の道に入ってゆく。標識が朝夷奈切通し、十二所果樹園、右と記してある。住宅地を左にそして右に進むと小さな沢沿いの道だ。軽自動車が一台山に向かって突っ込む形で止まっている。前輪は溝に落ちていいる。のぞいてみると人はいなかった。今起きた事故ではないようだ。なぜそのままにしているのかは謎だ。左横の沢はなかなかいい風情だ。

10時、左側に「太刀洗水」と看板がある。：頼朝に疑われた、平広常（上総介広常）が討たれた時、頼朝の命によって討った梶原景時がその時の太刀を洗ったとされる鎌倉の名水の一つ。「梶原太刀洗水」ともいうらしい。後に頼朝は謀反ではなかったと知り、後悔したと

収支	
繰越	33127 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	200 円
下見交通費	4900 円
現在高	27527 円

のこと：それにしても見過ごしてしまいそうな看板だ。ここはすでに朝夷奈切通しルートの一部になるようだ。すぐに、朝夷奈切通しの分岐になる。滝がありその左は切り通し方面、真つすが果樹園方面だが、ここで小休止。岩から滑り降りるような滝はなかなか立派だ。朝夷奈切通しという立派な石碑が滝の左側に立っている。昭和16年鎌倉市青年団が建てたとある。

10時7分再出発。じわじわと傾斜がついてきている。両側には笹やアオキの緑が目立つ。左側には何かの作業所になっているようであらうと無粋な波板のトタンが残念な感じだ。

10時16分、果樹園まで200mの看板。この辺りから一段と傾斜が足にこたえる。10時20分、果樹園の格子の扉に到着。扉は開いていた。道は、左にそして右に曲がっていくとベンチの

10時20分、果樹園の格子の扉に到着。扉は開いていた。道は、左にそして右に曲がっていくとベンチの

10時20分、果樹園の格子の扉に到着。扉は開いていた。道は、左にそして右に曲がっていくとベンチの

3月20日(日)、箱根の金時山(1212.5m)です。

レギュラーコース 歩行3時間

(上り1時間30分、下り1時間30分)

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

富士山の眺望を期待して箱根の金時山に行きます。

小田原からバスで仙石までここから山頂を目指します。下りは同じ道で、途中から右、金時神社方面に降ります。

仙石バス停から小田原駅へ

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 3月18日(金)までに

集合 3月20日(日) 小田急線新宿駅

6時11分発 急行小田原行き

(前から3両目車内)

途中駅発 代々木上原 6:16 下北沢 6:19

経堂 6:23 成城学園前 6:27 登戸 6:32

向ヶ丘遊園 6:35 新百合ヶ丘 6:41

町田 6:50 相模大野 6:53

小田原 7:44 着

(バス乗り換え4番乗り場)

8:10 発 桃源台行き 仙石 8:52 着

交通費 新宿～小田原 891 円

小田原～仙石 1,020 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

ある休憩ポイントに到着。荷物を下ろして長めの休憩。鶏が鳴いているような声があるがどうやら鶏ではなく、茂みの中にある小さな池の蛙の声のようだった。梅の花は、ほとんどの木がまだ蕾が膨らんで先が白くなっている程度だった。梅園の中で1本だけ。五く六分ほど咲いている木があったのでカメラに収めた。梅園の斜面を登って行き、突き当りを左に曲がる。ここは山道のルートになっていて右は帰りのルートの返子方面への尾根道だ。左に行けば切通から金沢八景



に抜けるようだ。

左に曲がるとすぐに階段状の上り坂になる。土が滑りやすいので慎重に上る。登り切ったところは鉄塔がありピークになっている。鉄塔の向こうには河津桜が一本咲いている。左に曲がって林を抜けると展望台だ。

10時50分、展望台の広場に到着。中央に広めのターブルとベンチ、東側にも東京湾を望むようにベンチがいくつか並んでいる。

早速、少し早い昼食の準備だ。ターブルの上には持ち寄りの美味しいお掃除が並ぶ、テーブル横では、宗像夫人、神吉の両料理人が豚汁作りにかかる、バス停近くの酒店が臨時休業でビールはゲットできなかったが、持ち寄りの日本酒、ウイスキー、梅酒で盛り上がる。美味しい豚汁が出来上がると行列が出来る。幸い他の登山客はなしで貸し切りのパーティは楽しく続いた。

食後は、シユガーズの4人が先日のコンサートのお礼代わりに数曲歌って締めた。幸いにも日差しも出て暖かい昼食だったが、富士山はほとんど見えなかった。

1時20分、2時間越えの長めの昼食を終えて下山開始。

南西方向の尾根道を下りてゆく。左は



米軍の池子住宅のフェンスや壁があるが、気持ちのいい尾根道の下りだ。笹のトンネルや岩の間の道、木々の間など標高の低さを感じさせない楽しい尾根道だ。木の根の張り巡らしているところも楽しかった。

2時23分、久木大池方面に右に曲がる。ここからの下りは雨の後で湿っていることもあり、かなり滑りやすくなっている。慎重に降りる。

2時40分、久木大池の東屋に到着。小休止。少し進んで目の前の階段を上ると坂上バス停だ。ここで解散。鎌倉行きと、返子行きの二手に分かれ帰路につく。

